いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業一覧

別紙２

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目 定量的実績 指標	実績確認項目 定量的実績 計画策定時と令和７（2025）年度目標	令和６（2024）年度実績	令和７（2025）年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括（今後の方向性）
Ⅰ-1	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	001	妊婦・出産ナビゲーション事業	面接率	96.80% （現状：令和２年度末） 100% （目標：令和７年度末）	96.7%	98.0%	「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施していく。「出産子育て応援事業」にて、妊婦だけでなく、夫・パートナーに対しても妊娠期から出産子育てまでの様々なニーズに即した支援につなげた。	健康推進課	達成 「出産子育て応援事業」を継続し、高い面接率を維持することができた。 引き続き、要支援者のさらなる把握に努め、切れ目のない子育て支援をめざしていく。
		002	産後ケア事業（訪問型・宿泊型）	利用者数	訪問型）676人 宿泊型）58人 （現状：令和２年度末） 利用者数増を目標とする （目標：令和７年度末）	訪問型）延602人 宿泊型）実370人 通所型）実309人	訪問型）延878人 宿泊型）実530人 通所型）実694人	区内契約施設を増やしたことや訪問型産後ケアの予約方法を見直したことにより、前年度と比較し登録件数と実利用人数が大幅に増加した。	健康推進課	達成 産後ケア事業は、順調に利用数が増加している。今後も、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を強化していくことが求められているため、産後ケア事業のサービス形態や仕組みについて検討していく。
		009	オンラインによる妊婦面接の導入	利用率	4.20% （現状：令和４年度末） 5.00% （目標：令和７年度末）	8.17%	9.68%	ホームページやチラシ等で、オンライン面接の周知を行った。夏の暑い日や自宅安静等で対面での実施が困難な妊婦にも、面接が実施できるようになった。	健康推進課	達成 オンライン面接の実績は年々上がっている。妊婦面接実績の向上にも繋がるため、引き続き実施していく。
		016	多胎児家庭支援事業（移動経費補助）	申請件数	198件 （現状：令和２年度末） 現状維持 （目標：令和７年度末）	103件	113件	年度当初に未申請の対象者宛に勧奨通知を送付した。 令和６年度より、書面申請に加え、LoGoフォームでの申請を開始した。	健康推進課	変更 令和２年11月に事業開始。令和２年度は遡及申請が可能であったため、申請件数が多かった。令和７年度実績は令和６年度に比べ微増しており、多胎児家庭への周知は変わらず徹底しており、利用者からの満足度は高く、支援ニーズには概ね応えられている。
		026	子育て支援情報の発信	アクティブユーザー数（１日に１回アプリを開いた数）	ー ※令和４年度アプリ更新（累計ダウンロード数10,236件） （現状：令和２年度末） 利用者数増を目標とする （目標：令和７年度末）	102,818件	102,841件	子どもの成長記録や予防接種スケジュール管理等の基本機能のほか、「オススメえほん」機能を取り入れ、各児童館のおすすめ絵本の紹介を行ったことで、わずかではあるが、アクティブユーザー数が昨年度と比較して増加した。	子育て支援課	達成 板橋区の重点政策である「絵本のまち」事業に関連した機能の追加により、アクティブユーザー数を増加させることができた。今後もユーザーのニーズに合わせた機能の充実を図っていく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業一覧

別紙２

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目 定量的実績 指標	実績確認項目 定量的実績 計画策定時と令和７（2025）年度目標	令和６（2024）年度実績	令和７（2025）年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括（今後の方向性）
Ⅰ-1	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	031	子どもなんでも相談	相談対応件数	69,058件 （現状：令和２年度末） 78,000件 （目標：令和７年度末）	27,871件	31,430件	令和４年度の子ども家庭総合支援センターの開設により、相談対応が援助課と分散することとなったため、策定時と同一条件での実績把握は困難となっている。広報・周知の実施により、開設以来の相談件数は増加傾向にある。援助課（児童相談所部門）や健康福祉センターと連携しながら相談にあたった。	支援課	変更 個々の相談に対しては、子どもや保護者に寄添い丁寧に対応している。 目標値には届かないものの、児童相談所の開設以降毎年の相談増となっており、有効な策であると考えられるため引き続き継続していく。
Ⅰ-2	誰もが希望する幼児教育・保育の支援	032	保育施設の整備	保育施設定員数	13,792人 （現状：令和２年度末） 14,278人 （目標：令和７年度末）	13,329人	13,493人	令和４年に待機児童ゼロを達成して以降、欠員の問題が生じている中、新規整備は慎重に検討している。	子ども政策課 保育運営課	未達成 令和４年から３年間待機児童ゼロを達成したが、令和７年４月時点で待機児童が７名発生しており、０・１・２歳児の定員の拡充や特定地域への小規模保育所の誘致を検討するなど、待機児童解消に向けて取り組んでいく。 一方、令和７年４月時点で０歳児294人、１歳児70人、２歳児105人、０～２歳児７人（家庭福祉員）、３歳児222人、４歳児233人、５歳児219人と欠員が多く生じている状況に変わりなく、新規整備については、引き続き慎重に検討していく。
		051	区立幼稚園での３歳児保育及び預かり保育の実施	預かり保育 延利用者数	延2,000人 （目標：令和７年度末）	延2,300人	延3,630人	保育利用の手引きや区ホームページでの周知に加え、周知用チラシを作成し、入園説明会や保護者会などで新入園児・在園児の保護者に説明を行った。	学務課	達成 令和６年度に預かり保育の利用時間及び利用料金を細分化したことにより、保護者のニーズに沿った利用が可能となった。その結果、延べ利用人数が増加し、目標達成につながった。
		053	保育士研修の充実	参加人数	2,910人 （現状：令和２年度末） 参加人数増を目標とする （目標：令和７年度末）	研修回数　145回 参加人数　4,054人	研修回数　118回 参加人数　4,346人	講義、保育実践報告、グループワーク、振り返り研修など、内容を充実させることで、保育の質の向上につなげることができている。また、保育士が保育の困難さを感じている課題をテーマにした内容を多く取り入れた。	保育運営課	達成 Zoom研修の導入などにより、受講者が参加しやすい環境を整え、研修を充実させていく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業一覧

別紙２

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目 定量的実績 指標	実績確認項目 定量的実績 計画策定時と令和７（2025）年度目標	令和６（2024）年度実績	令和７（2025）年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括（今後の方向性）
Ⅰ-2	誰もが希望する幼児教育・保育の支援	054	幼稚園・保育園・小学校交流合同研修	参加園数	１回目は中止 ２回目は動画配信 （現状：令和２年度末） 参加園数増を目標とする （目標：令和７年度末）	実施回数　２回 １回目　90園 ２回目　93園	実施回数　２回 １回目　101人 ２回目　94人	小学校教諭に保育園での子どもの生活を伝える講義をした後、近隣の保育園・幼稚園・小学校でグループを作り、グループワークを行った。教員と保育士の交流の機会を提供することで、保幼小連携につなげることができた。	保育運営課	達成 保幼小間で情報交換の場を設けることで、子どもたちのスムーズな就学支援につなげることができている。今後も保幼小の連携を図るべく、研修を充実させていく。
Ⅱ-1	子どもの命と健康を守ります	067	食育の推進	事業参加者数	740人 （現状：令和２年度末） 4,000人 （目標：令和７年度末）	6,997名	5,364名	農業まつりや他課との連携イベント、野菜摂取量充足度推定機器を活用し、食育推進の普及啓発を行った。	健康推進課	達成 当初計画と一部事業内容に変更あり。 今後も地域イベント等において、栄養や食生活についての情報提供を行う。
		075	出張歯みがき指導	実施か所数	９か所 （現状：令和２年度末） 73か所 （目標：令和7年度末）	105か所	88か所	保育園等からの依頼に応じて抽選で実施している。媒体の工夫や実習を取り入れており、理解度も高い。出張指導とともに、資料提供と動画案内も実施している。	板橋健康福祉センター	達成 目標を上回る実施となったが、実施状況に偏りも見られるため、希望施設全実施へ向けて調整を強化する。引き続き質の高い歯科健康教育を維持しながら、普及に取り組んでいく。
		079	予防接種	麻しん風しん混合第１期接種率	99.6% （現状：令和２年度末） 95.5% （目標：令和７年度末）	94.8%	95.3%	定期接種期間間近になっても未接種の方に個別にはがき送付し、3月の予防接種週間では町会掲示板に予防接種の打ち忘れについての注意喚起用ポスターを掲示した。	予防対策課	達成 未接種者へのはがきによる勧奨を行うなど、接種漏れのないよう周知を行った。
Ⅱ-2	子どもが安心・安全に暮らせる取り組み	090	げんきっ子トラフィックスクール	実施園数	66園 （現状：令和２年度末） 実施園数増を目標とする （目標：令和７年度末）	100園　2,323人	83園　1,804人	私立保育園の職員が公立保育園での「げんきっ子トラフィックスクール」の見学をすることで、より有効的な取り組みとなるようにした。	保育運営課	達成 参加園数は減少したが、職員が活動について学び合うことで、内容の充実を図ることができた。 今後も、内容の充実を図り、実施園数増をめざしていく。
		093	自転車通行空間の整備	優先整備路線整備延長	延16.6km （目標：令和７年度末）	7.5km （赤塚公園通り、ときわ通り、福寿通り、前野中央通り、大谷口通り、中丸通り、ほか） 令和４～６年度合計：9.5km	7.1km （蓮根駅前通り、小豆沢通り、若木通り、ほか） 計画期間（令和４～７年度）合計：16.7km	令和７年度は、関係機関と遅滞なく協議し、計画どおり整備を完了することができた。	土木計画・交通安全課	達成 優先整備路線16.7㎞の整備を達成した。今後も「板橋区自転車活用推進計画」に基づき令和12年度まで優先整備路線を整備した後に、ネットワーク路線の整備を順次進める。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業一覧

別紙２

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目 定量的実績 指標	実績確認項目 定量的実績 計画策定時と令和７（2025）年度目標	令和６（2024）年度実績	令和７（2025）年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括（今後の方向性）
Ⅱ-2	子どもが安心・安全に暮らせる取り組み	096	公園のユニバーサルデザイン化	改修した公園数	４か所 （現状：令和２年度末） ７か所 （目標：令和７年度末）	５か所（令和６年度整備１か所）	５か所（令和７年度整備無し）	公園の改修にあたり、説明会やワークショップ、アンケート等を実施し、公園利用者のニーズに合った公園整備を進めている。	みどりと公園課	変更 残り２か所（板橋公園、四葉公園）は、令和８年度に整備を完了する計画へ変更した。引き続きユニバーサルデザインに配慮した公園整備を進めていく。
		100	板橋セーフティー・ネットワーク	協力事業者数	129事業者 （現状：令和２年度末） 155事業者 （目標：令和７年度末）	158事業者	163事業者	防犯講習会や防犯イベントでの周知を図った。	防災危機管理課	達成 防犯講習会や防犯イベントでの周知により、計画期間での目標を達成することができた。引き続き、区公式ホームページやＳＮＳも活用しながら、制度の周知に努めていく。
		105	「板橋区版スマートフォン等を使うためのルール」の周知・啓発	リーフレット活用率	63.4% （現状：令和２年度末） 90% （目標：令和７年度末）	87.8%	72.4%	リーフレットの発行・アンケートの実施等を、板橋区立学校等緊急連絡・お知らせ配信システム「すぐーる」を通じて案内するなど、ICT機器の活用の継続。 今年度から小学校低学年世帯向けに「共用」に係るルールについても記載し、ターゲットの幅を広げた。	地域教育力推進課	概ね達成 親子で一緒に考え取り組むきっかけを提供することで、「保護者の意識向上」や「親子のコミュニケーション向上」が図られ、一定の成果が上がっている。 引き続き、保護者のニーズを把握・反映させた事業展開をすることで、子どもたちの自立心を培いつつ、子どもたちや家庭の孤立化を防止し、家庭における教育力を高めていく必要がある。
		106	PTAと協働した安全対策事業	実施事業数	２事業 （現状：令和２年度末） 現状維持 （目標：令和７年度末）	２事業 （「子どもを守ろう！合同パトロール」、「こども110番クリアフォルダー」の作成）	２事業 （「子どもを守ろう！合同パトロール」、「こども110番クリアフォルダー」の作成）	「子どもを守ろう！合同パトロール」の実施にあたり、板橋区立小・中学校PTA連合会以外にも、町会・自治会や板橋セーフティー・ネットワーク参加事業者などの関係機関・団体に対して、パトロール・見守り活動の強化を要請することで、子どもたちの健やかな成長を地域で見守る関係機関相互の連携を強化することができた。	地域教育力推進課	達成 板橋区立小学校PTA連合会と協働した、「こども110番クリアフォルダー」の作成・配付や、板橋区立小・中学校PTA連合会と協力した「子どもを守ろう！合同パトロール」の実施を通じ、子どもたちの安心・安全な環境づくりに寄与している。 引き続き、関係機関との連携をより一層強化しつつ、持続可能性を見据えた効果的・効率的な事業実施手法を模索する必要がある。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目 定量的実績 指標	実績確認項目 定量的実績 計画策定時と令和７（2025）年度目標	令和６（2024）年度実績	令和７（2025）年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括（今後の方向性）
Ⅲ-1	特に配慮が必要な子どもの健やかな成長を支援	112	障がい児通所支援	児童発達支援センター数	２か所 （現状：令和２年度末） ２か所以上 （目標：令和７年度末）	３か所	３か所	個々の障がい児の特性等を踏まえた通所支援計画を作成し、日常生活における基本的動作や知識技能を習得し、集団生活に適応できるよう支援を行った。	障がい政策課	達成 区内において児童発達支援センターを３か所設置している。今後はセンター間での連携強化を図りつつ、地域における障がい児支援の中核的な役割をめざす。
		113	医療的ケア児の受入	実施園数	２園 （現状：令和２年度末） 現状維持 （目標：令和７年度末）	５園 （高島平あやめ保育園・上板橋保育園に加え、令和６年度から坂下三丁目保育園・中板橋保育園・ゆりの木保育園を追加）	７園 （区立保育園５園、私立保育園２園） 医療的ケア児の受入を実施している区立保育園５園のうち３園に在園。（公立） 私立保育園２園に在園。（うち１園の医療的ケア児は年度途中に医療的ケアが不要となった。）（私立）	板橋区医療的ケア児受入れガイドラインを見直し、実施園にとってわかりやすいものに変更した。（公立） 私立の受入園に対して、加算金及び補助金を創設し、受入園の体制支援を行った。（私立）	保育運営課 保育サービス課	達成 入園を希望している医療的ケア児を保育園、医療的ケア児双方にとって不安なく受入れできるように検討をしていく。
		122	あいキッズにおける要支援児受入	受入可能施設数	51か所 （現状：令和２年度末） 現状維持 （目標：令和７年度末）	受入可能施設数：51か所 実際に対象者を受入れた施設数：44か所	受入可能施設数：51か所 実際に対象者を受入れた施設数：46か所	会議などでの情報の共有、専門家による現場職員への助言など、児童の安全な受け入れに対する支援を行った。	地域教育力推進課	達成 引き続き51あいキッズで要支援児を安心安全に受け入れできるよう工夫していく。
		131	要支援児保育巡回指導	実施園数	129園 （現状：令和２年度末） 実施園数増を目標とする （目標：令和７年度末）	144園	144園	要支援児保育が必要となった園に対して速やかに心理判定員の配置を行った。	保育サービス課	達成 安心して要支援児保育を行えるよう、園や心理判定員のサポートを行う。
		134	特別支援学級の設置	開設数 ※特別支援教室拠点校含む	36校 （現状：令和２年度末） 現状維持 （目標：令和７年度末）	36校	36校	一人ひとりの教育的ニーズに的確に応えられるよう、アセスメントの充実、専門性の向上に資する専門家相談の実施等を行い、特別支援教育の充実を図った。また、特別支援学級の開設については、新たな障がい種の特別支援学級の開設について検討を進めた。	指導室	達成 知的障がいの特別支援学級の開設運営について、必要に応じて検討を行う。自閉症・情緒障がいの特別支援学級については令和10年度の開設に向けて検討を進める。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目 定量的実績 指標	実績確認項目 定量的実績 計画策定時と令和７（2025）年度目標	令和６（2024）年度実績	令和７（2025）年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括（今後の方向性）
Ⅲ-2	貧困や虐待から子どもを守ります	137	母子・父子自立支援プログラム策定事業	策定件数	７件 （現状：令和２年度末） 15件 （目標：令和７年度末）	25件	30件	令和７年度は例年より新規策定が増加した。この増加は、給付金を利用するためにプログラムを策定することを要件として加えたことが要因の一つと考えられる。	地域福祉連携課	達成 ひとり親家庭への給付金を支給するためにプログラムを策定することを必須としたことで、困難を抱える父母に対する自立に向けた伴走型の支援を展開できているため、今後も区民の方のニーズや課題等を支援員と共有し、自立に向けた支援を継続的に行っていく。
		146	子どもの学習・生活支援事業「けやきば」（旧「まなぶーす」）	利用登録者数	134人 （現状：令和２年度末） 150人 （目標：令和７年度末）	155人	161人	事業名や実施場所が令和７年度より変更となり、改めて関係機関に周知を行った。また利用申込の一部に二次元コードを使用し、支援が必要な家庭が利用しやすいよう工夫した。	地域福祉連携課	達成 事業を通して進学を含め子どもたちの学習を支援することができた。また、さらなる周知活動を通してこれまで活用していなかった子どもたちにも事業を広めていく。
		149	養育費確保支援事業	申請件数	※令和３年度事業開始 30件 （目標：令和７年度末）	41件	39件	昨年同様、区の戸籍窓口や板橋区公証役場に当事業のチラシを置くことによる周知のほか、ひとり親家庭相談窓口主催のセミナーで、離婚前の方へ養育費確保支援事業の周知を行った。 その結果、申請件数は、令和６年度と同水準となった。	地域福祉連携課	達成 補助金メニューを段階的に拡充し、個々の状況に応じた養育費の取り決め方法により、養育費の継続した履行確保に寄与した。申請件数は増加傾向にあることから、引き続きあらゆる機会・媒体を通じて制度の周知を行っていく。
		162	子ども家庭支援事業	相談対応件数	474件 （現状：令和２年度末） 相談対応件数増を目標とする （目標：令和７年度末）	1,536件（新規受理件数のうち虐待を除く）	1,692件（新規受理件数のうち虐待を除く）	保護者の病気や経済状況など、家庭環境に何らかの課題がある子育て家庭の相談が増加傾向にある。所内での情報共有及び支援策の検討を実施し、組織として対応した。	支援課	達成 平日の開所時間以外もコールセンターで受電対応するなど相談体制を確保し、迅速な対応と早期解決を図っている。引き続き、各相談に丁寧に対応していく。
		163	子ども家庭援助事業	児童虐待受理件数	1,300件 （目標：令和７年度末）	1,131件	1,318件	警察や学校、病院等の関係機関と定期的に意見交換会を行い、児童虐待が生じた場合や疑いがある場合の初動対応について、それぞれの役割を確認するとともに、情報交換を行い、連携を深めている。	援助課	達成 虐待に対する社会的関心が高まる現状において、関係機関や近隣住民からの通告や相談が増加したことで、児童虐待受理件数は増加傾向にあります。今後も迅速で適正な初動対応が行えるよう、引き続き、関係機関等と綿密に情報交換を行っていく。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目 定量的実績 指標	実績確認項目 定量的実績 計画策定時と令和７（2025）年度目標	令和６（2024）年度実績	令和７（2025）年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括（今後の方向性）
Ⅲ-2	貧困や虐待から子どもを守ります	165	里親事業	養育家庭登録数	22件 （現状：令和２年度末） 44件 （目標：令和７年度末）	32件	35件	今までの普及啓発活動の継続に加え、区内商業施設やくるくるパークへのブース出展、区公式SNSでの情報発信、本庁舎南館デジタルサイネージやスマートバス停での配信、コミュニティバスにポスター掲示等様々な手法による普及啓発活動を行い、里親制度の認知度向上、里親登録数の増につながった。	援助課	概ね達成 令和７年度は新規登録が７件あり、転出や辞退による登録取消が４件あった。着実に区内での里親制度の認知度は広まっている。今後は認知度を登録数につなげるため、関係機関との連携を強化するとともに、普及啓発活動の継続と見直し、効果的な普及啓発の方法を模索していく。
Ⅳ-1	これからの社会を生き抜く力を養成	167	読み解く力の促進	実施状況	対象の全児童・生徒実施 （現状：令和２年度末） 現状維持 （目標：令和７年度末）	74校 （区立小学校51校、区立中学校22校、区立天津わかしお学校１校）	74校 （区立小学校51校、区立中学校22校、区立天津わかしお学校１校）	アセスメントを着実に実施するとともに、アセスメント結果をどのように指導改善に生かすかをリーフレットにまとめ、区内小中学校に配付した。	指導室	変更 本事業を通して、全国学力学習状況調査の結果が向上するなど、成果が見られた。今後は、「MIRAI SCHOOL いたばし教育ビジョン2035」に基づき、新たな取組を検討していく。
		171	ロボットプログラミング教室の実施	実施回数	34回 （現状：令和２年度末） 52回 （目標：令和７年度末）	146回	110回	新設したアート講座は毎月２回実施としたが、毎回定員 10名程度が満席状態であった。ロボットプログラミングは「発想する体験」に重点を置いた内容にしたところおおむね評判が向上した。	生涯学習課	達成 エレベーター工事による休館期間を除き、各月で継続的に実施することができた。今後も、初心者から上級者まで幅広い参加者が楽しみながら学べる教室となるよう、内容や運営方法を工夫しながら継続していく。
		175	子ども向け美術普及	ひよこ・たぬきアトリエ参加者数	０人※事業中止 （現状：令和２年度末） 144人 （目標：令和７年度末）	127組349人 （親176人、子173人）	112組290人 （親149人、子141人）	多くの方が参加しやすいよう、家族単位での参加を可としている。 引き続き、ゆとりを持った定員設定とした結果、講師の目が行き届き、会話を交えた双方向の講座とすることができた。	文化・国際交流課	達成 令和４年度からブランド戦略の１事業と位置付けたため、「こどもアトリエ」に事業名を変更し、以降、軌道に乗り目標を達成できた。 作業スペースを確保し、講師の目が行き届くよう、定員は12組で継続予定である。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目 定量的実績 指標	実績確認項目 定量的実績 計画策定時と令和７（2025）年度目標	令和６（2024）年度実績	令和７（2025）年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括（今後の方向性）
Ⅳ-1	これからの社会を生き抜く力を養成	209	図書館を使った調べる学習コンクール	参加校数	51校 （現状：令和２年度末） 66校 （目標：令和７年度末）	区立小学校　44校 区立中学校　３校 私立小学校　1校	区立小学校　47校 区立中学校　４校 私立小学校　１校	ホームページ・SNSで調べる学習相談会などを情報発信した。また、調べ学習の進め方動画を配信し、自由に閲覧できる環境を整えた。小学校に対しては、出張授業を行い、児童に調べる学習の説明を行った。また、図書館内で相談会を実施し、調べる学習の支援を行った。表彰式では、最優秀賞受賞者にインタビュー形式で作品について質問する時間を設け、児童・生徒から直接成果を発表する機会をつくった。	中央図書館	概ね達成 中央図書館で実施する相談会の募集人数を大幅に増やし、専門家による講座とする。また、区独自の賞を増設し、参加意欲を喚起することで魅力的なコンクールとする。
Ⅳ-2	自信をもって大人へと成長する子どもと家庭を支援	211	いたばし若者サポートステーション	新規利用者数	71人 （現状：令和２年度末） 140人 （目標：令和７年度末）	新規利用者：72人 新規利用者数 令和４～６年度合計：225人 来所延人数 令和４～６年度合計：7,806人	新規利用者：90人 新規利用者数 計画期間（令和４～７年度）合計：315人 来所延人数 計画期間（令和４～７年度）合計：10,652人	毎月区の交換便にて、図書館等公共施設へパンフレット、セミナー予定表、見学会チラシを配布し、近隣のハローワーク等就労支援機関、精神保健福祉センター等の関係機関、近隣の大学６校、居場所支援４か所へ郵送した。 ７月に区内の町会掲示板にポスター掲示した。 広報いたばしに３回掲載 ホームページやLINEを活用 新規登録者の情報入手元がホームページ(24％)と家族・知人(21％)であることから、上記のとおり事業周知活動に力を入れている。	産業振興課	未達成 パンフレット、セミナー予定表、チラシの公共施設での配布や、近隣の関係機関や大学への郵送、町会掲示板でのポスター掲示、ホームページやLINEなどを活用し、区民に周知を図ることで、新規利用者数は25％増加した。 上記に加え、予約不要でサポートステーションを見学できる施設見学会や保護者対象のセミナーの開催などにより、新規利用者の増をめざしていく。
		213	中学・高校生の子育て体験事業	ボランティア受入延べ人数	０人※事業中止 （現状：令和２年度末） 延500人 （目標：令和７年度末）	127人 【内訳】 中学生：118人 高校生：９人 令和４～６年度合計：387人 【内訳】 中学生：378人 高校生：９人	99人 【内訳】 中学生：96人 高校生：3人 計画期間（令和４～７年度）合計：486人 【内訳】 中学生：474人 高校生：12人	受け入れを継続的に可能にする体制を維持し、保育士の仕事を中学生に認知してもらうことで将来の職業選択の一つとして保育士を検討する一助となるほか、幼児と触れ合う機会を持つことで得られる新しい視点を見つける機会を提供した。	保育運営課	達成 コロナ禍以降、徐々に参加者数は回復傾向にある。引き続き様々な場面で周知を図りながら、事業を展開していく。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目 定量的実績 指標	実績確認項目 定量的実績 計画策定時と令和７（2025）年度目標	令和６（2024）年度実績	令和７（2025）年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括（今後の方向性）
Ⅳ-2	自信をもって大人へと成長する子どもと家庭を支援	220	不登校改善重点校事業の実施	重点校数	５校 （現状：令和２年度末） 現状維持 （目標：令和７年度末）	15校	14校	これまで中学校を中心に重点校を指定してきたが、小学校にも拡大し、支援の充実を図った。	指導室	達成 本事業を通して、各学校の不登校対応力が強化されるなど、成果が見られた。今後は、「不登校改善重点校」として指定するのではなく、全ての学校に還元できる事業にさらに改善を図っていく。
		223	板橋フレンドセンター（適応指導教室）	登録児童・生徒数	148人 （現状：令和２年度末） 180人 （目標：令和７年度末）	185人	181人	大学生ボランティアを活用し、通級児童と年齢の近いスタッフによる交流を図るとともに、パラアスリートの講演会やふれあい動物園事業など,各種体験事業を充実させた。運営の手引きを見直し、学校が苦手な児童が来やすくなるよう、部屋の名称を変えるなど学校らしさを払拭するための取組を行った。	教育支援センター	達成 様々な理由で学校へ通えない児童・生徒のための居場所の１つとして、今後も事業を充実・継続していく。
		224	スクールソーシャルワーカーの活用	訪問延べ回数	1,213回 （現状：令和２年度末） 1,600回 （目標：令和７年度末）	5,814回	7,622回	スクールソーシャルワーカーを中学校に配置する拠点校型の利点を活かし、教職員と協働しながら、迅速かつ適切な支援ができている。また、小学校への巡回も強化し、早期発見・対応をすることで切れ目のない支援を行っている。 上記対応によって、訪問延べ回数（対応件数）が増加している。	教育支援センター	達成 令和５年度よりスクールソーシャルワーカーの配置方法を拠点校型にしたことでスクールソーシャルワーカーの効果的活用が進んだ。今後も福祉的支援が必要な児童・生徒に対して、教職員・関係機関と協働しながら、早期発見・対応を行い、効果的な支援を実現していく。
Ⅴ-1	子どもが誇りを持てるいたばし	231	コミュニティ・スクール委員会の運営	学校経営にiCSを取り入れている度合い	46.2% （現状：令和２年度末） 70% （目標：令和７年度末）	58%	56%	アドバイザー派遣、iCSフォーラム、CS委員基礎研修、CS委員長研修を行うなど、関係者の意識向上につながる取組を行った。 また、広報誌(iCSレター)を年５回発行し、好事例の情報発信を行った。	地域教育力推進課	概ね達成 コミュニティ・スクール委員会の全校設置から６年が経過し、運営の定着は一定程度図られた。今後はさらにiCSの仕組みが円滑に機能するよう支援を行っていく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業一覧

別紙２

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目 定量的実績 指標	実績確認項目 定量的実績 計画策定時と令和７（2025）年度目標	令和６（2024）年度実績	令和７（2025）年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括（今後の方向性）
Ⅴ-1	子どもが誇りを持てるいたばし	232	学校支援地域本部事業の推進	学校支援ボランティア数	68,823人 （現状：令和２年度末） 102,200人 （目標：令和７年度末）	69,781人	69,938人	地域コーディネーター初任者研修、情報交換会、交流サロン等を開催し、好事例共有や統括コーディネーターによるアドバイスを行った。また、統括コーディネーターが新任校長を訪問し学校支援地域本部の活用方法を支援した。	地域教育力推進課	概ね達成 学校支援に関わるボランティア数は少しずつ増加している。ただし、学校地域によって主体性や活動内容に差があるため、引き続き、学校・家庭・地域が一体となって子どもをはぐくむ環境整備を進めていく。
		234	子育て支援員の活動支援	子育て支援員養成講座修了者数	０人※事業中止 （現状：令和２年度末） 毎年70人 （目標：令和７年度末）	―	―	※事業廃止（令和６年度）	保育運営課	変更 子育て支援員養成講座の受講者数は年々減少し、また、東京都において、年間を通じて当該講座を実施しているため、区民への影響が少ないことに鑑み、令和６年度をもって本事業を廃止した。
		238	職場体験学習（中学生向けインターンシップ）	実施校数	３校※コロナの影響による （現状：令和２年度末） 22校 （目標：令和７年度末）	22校	22校	学校や地域の実態に応じて、多様な体験学習が実施された。生徒が職場体験をするほか、出前授業として地域の企業等の協力を得ることができ、充実した活動となった。	指導室	達成 本事業は、生徒が自らのキャリアについて主体的に考えるきっかけとなる事業である。今後も、学校や地域の実態を大切にしながら取り組んでいく。
		240	若者の居場所づくり事業	i-youth利用者が企画運営に携わる事業・イベント数	９事業 （現状：令和２年度末） 事業・イベント数増を目標とする （目標：令和７年度末）	７事業 （ダンスフェスタ１回、ミュージックコンサート2回、まなフェスi-youth企画「i-youth食堂」１回、シーズンコンサート3回）	６事業 （ダンスフェスタ１回、ミュージックコンサート１回、まなフェスi-youth企画「i-youthカフェ」１回、シーズンコンサート３回）	中高生・若者が主体的に事業の企画運営に携わり、一つのものを作り上げる楽しさや達成感を得られるよう事業の運営方法を工夫した。また、生涯学習センターで活動される方々が事業に参加できる機会を一部提供し、「世代を超えた交流」も実現できた。	生涯学習課	概ね達成 中高生・若者のi-youth事業への主体的な関わりが生まれ、中高生・若者が企画し運営する事業が実施できている。引き続き、中高生・若者主体の事業づくりを支援していく。
		245	図書館サポーターの育成	講座数	３回 （現状：令和２年度末） ８回 （目標：令和７年度末）	８回	７回	多様な子どもたちへのサポートを推進するための講座を実施した。 パネルシアターを開催し、新たな活動の幅を広げるため、物品等を新規で貸出可能にし、環境を整備した。	中央図書館	概ね達成 図書館サポーターの講座を実施し、講座のアンケートでは全体で98％以上の満足度を得られた。今後も多種多様な講座を開催していくことで、今後も多様な子どもたちへのサポートを推進するため活動を支援していく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業一覧

別紙２

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目 定量的実績 指標	実績確認項目 定量的実績 計画策定時と令和７（2025）年度目標	令和６（2024）年度実績	令和７（2025）年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括（今後の方向性）
Ⅴ-2	「子育てするなら“いたばし”で」を実現	251	いたばしグッドバランス推進企業表彰	応募企業数	４社 （現状：令和２年度末） ５社 （目標：令和７年度末）	応募企業数７社	応募企業数４社	板橋区立企業活性化センター等の関係機関と連携し、周知を行った。令和６年度から引き続き、受賞企業紹介のためのインタビュー動画や展示用パネルを作成し、各種事業で掲示する取組を実施した。	男女社会参画課	概ね達成 年度別計画の５社には届かなかったものの、令和３年度から令和７年度までの累計実績が28社となり、計画期間全体の目標である25社を上回る結果となった。今後も、産業振興課と連携し、区内企業におけるワーク・ライフ・バランスを推進し、家庭生活と仕事を両立しやすい環境づくりを進めていく。
		269	板橋こども動物園	利用者数	341,754人 （現状：令和２年度末） 600,000人 （目標：令和７年度末）	563,892人	561,993人	令和７年度にインスタグラムを開設し、季節イベントに関連した投稿を行う等、工夫して情報発信を行った。 また、2025年度グッドデザイン賞を受賞し、受賞後のPRに力を入れた。受賞を記念した記念カードを作成し、SNSや町内モニター、バス停のデジタルサイネージ等、各所で周知を行った。	みどりと公園課	達成 指定管理者の知見を活かし、充実したプログラムの提供やより効果的な魅力発信を行うことで、利用者数の増加をめざす。
		271	i－youth（あい・ゆーす）	利用者数	14,346人 （現状：令和２年度末） 40,000人 （目標：令和７年度末）	i-youth利用者 27,532人 （大原 15,966人、成増 11,566人）	i-youth利用者 30,822人 （大原 19,259人、成増 11,563人）	利用者に対し、ダンス等の練習場所や自由に過ごすスペースの提供や音楽を通じた利用者同士の交流の機会を設けた。また、未来の中学生である小学生の利用促進にも取り組んだ。	生涯学習課	概ね達成 中高生・若者が気軽に立ち寄れる居場所として機能できている。今後、施設の改修等が一部予定されている中での活動環境の維持・整備を行っていく。

○評価標語と定義

評語	定義
達成	令和７年度末までの目標事業量を計画どおり（概ね９割以上）達成したもの。
概ね達成	令和７年度末までの目標事業量を概ね７～９割達成したもの。
未達成	令和７年度末までの目標事業量の達成率が概ね７割未満の実績であったもの。
変更	新型コロナウイルス感染症対策など、社会情勢等により計画を変更したもの。